

②サービス内容の充実に向けた取組み（令和2年度以降）

○祝日営業の実施

ア 就業規則や人員体制を見直し、年間約16日ある祝日を営業日により、利用者及び家族の利便性の向上を図る。

※ 増収見込額 年間2,080千円

○営業時間の拡大

ア 祝日営業の実施とともに、営業時間を1時間延長し、7時間に拡大する。

※ 増収見込額 年間2,220千円

※ 夕食の提供等のニーズ調査、他のサービス事業者の状況調査を実施し、その結果により更なる営業時間の拡大も検討する。

○個別機能訓練加算Ⅱの取得

ア 人員体制の整備により、現在取得している個別機能訓練加算Ⅰに加え、個別機能訓練加算Ⅱを取得し、機能訓練サービスの強化を図る。

※ 増収見込額 年間1,728千円

（参考）個別機能訓練加算Ⅰ、Ⅱの算定要件

	加算Ⅰ	加算Ⅱ
単位	46単位	56単位
人員配置	指導員1名以上	指導員1名以上
実施者	指導員の管理の下に別の従業者が実施可	指導員自ら直接実施
対象者	人数制限無し	小集団（5人以下）

○沖浜デイサービスセンター利用者の受入れ

ア 沖浜デイサービスセンター利用者の新たな受入れ先として、1日平均1.1人程度の利用者を受入れる。

※ 増収見込額 年間2,110千円

○人材の育成・確保

ア 職員のスキルアップを図るため人材育成・研修計画を作成し、利用者満足度の向上を図る。

4) 事業の方向性 ⇒ 改善継続

平成25年度以降は赤字経営となったが、それ以前は概ね黒字経営となっており、この事業から生み出された財源は、訪問介護事業と同様に本会の自主財源の一翼を担ってきた。改善策を実施することにより、次年度以降の収支は黒字経営が十分見込まれること

次期指定管理期間も指定管理者に選定されるよう、魅力ある通所介護施設にしていきたい。